

大会名 Competition	第23回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-105	Year Month Day Time 2010 年 5 月 3 日 17 : 10
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B
延岡学園	(18 1st 15 11 2nd 15 22 3rd 14 26 4th 14 OT)	能代工高
77 ○		58 ●

主審:Referee
渡邊 亮 福島県
副審:Umpire
高根 聡 秋田県
テーブルオフィシャル:Table officials
酒田商業

No.	PI-IN	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-IN	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	/	甲斐慶彦	CAP	3	1	0	0	0	4		熊坂兼	CAP	-	-	-	-	0
5	×	エリマン	パイ	20	0	9	2	3	5	/	西島宏哉		6	0	2	2	5
6	/	大和倫矩		1	0	0	1	0	6	×	笹木皓太		6	0	3	0	2
7	×	黒木亮		10	0	3	4	3	7	/	秋葉真司		0	0	0	0	5
8		脇坂恭輔		-	-	-	-	0	8	×	志水一希		9	2	1	1	1
9		西口直哉		-	-	-	-	0	9	/	中山祐樹		0	0	0	0	1
10	/	山田省吾		0	0	0	0	0	10	/	熊谷慎也		0	0	0	0	1
11	×	岩田大輝		9	0	3	3	3	11	×	田中浩喜		9	1	2	2	2
12	×	寺原拓史		6	1	1	1	2	12	×	溝坂太成		15	2	4	1	0
13	/	岡本飛竜		3	1	0	0	1	13	/	伊藤健太		0	0	0	0	1
14	×	ベンドラメ礼生		8	1	2	1	2	14	/	金田海郷		3	1	0	0	2
15	/	エルバジ・アッサン	ジョ	15	0	7	1	1	15	×	中村正也		0	0	0	0	3
16	/	田中駿也		0	0	0	0	0	16		三浦基		-	-	-	-	0
17	/	善家耕太郎		2	0	1	0	0	17	/	野里淳貴		0	0	0	0	0
18	/	平岡大志		0	0	0	0	0	18	/	土屋真人		10	1	3	1	1
コーチ		北郷純一郎							コーチ		佐藤信長						
アシ		丸岡英文							アシ		安保敏明						
合計				77	4	26	13	15	合計				58	7	15	7	24

※ ×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1ピリオド、延岡はマンツーマン、能工はゾーンディフェンスでゲームが始まる。高さで勝る延岡に対して、能工#12溝坂が積極的にドライブしバスケットカウントを奪う。延岡は長身の外国人選手が速攻の先頭を走り点数を重ねる。終盤、延岡はファウルがかさみ能工にフリースローを与えるが、これを能工が決めることが出来ず、18-15と延岡リードで終了。

第2ピリオド、延岡はゾーンディフェンスに切り替えて守る。これに対して能工はアウトサイドからシュートを試みるもなかなか決まらない。延岡も能工の激しいゾーンディフェンスに、思うように点数が伸びない。終盤、能工#12溝坂が立て続けに3Pを決めリードを奪い29-30として前半終了。

第3ピリオド、延岡はディフェンスをマンツーマンディフェンスに戻す。両チームとも序盤から激しいオフェンスリバウンドの取り合いとなる。能工#15中村が高い位置でリバウンドを取ると、延岡#5パイも負けじとゴール下でシュートを決め延岡が逆転。その後お互いファウルが重なり、能工#5西島がファウルアウト。延岡は与えられたフリースローを決め、51-44とリードし第3ピリオド終了。

第4ピリオド、開始早々延岡が4点を加えたところで能工はたまたまタイムアウト。しかし延岡は#15ジョブが豪快にタップシュートを決め、流れを渡さない。能工はオールコートディフェンスでプレッシャーをかけるも、ファウルが重なる。延岡はアウトサイドからのシュートやフリースローで点差を広げ、77-58で能工を下した。